

平成21年度～23年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.32 野菜価格安定対策事業（生産基盤整備事業）			担当課	農政課			予算費目名	款 06	項 01	目 03		
事業概要 及び目的	共同出荷される指定野菜（人参）の価格低落時に生産者が受け取る価格差補給金のうち、生産者が負担すべき再造成に要する価格差補給金の20%について補助する。			成果指標	出荷農家数	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度			
						予算額（単位：円）	2,700,000	2,983,104	1,000,000	(10,000,000) (生産基盤整備事業一括)			
						決算額（単位：円）	0	2,983,104	910,608				
						従事職員数	1	1	1				
事業の 位置づけ	章	4	活気あふれるいきいきとしたまち	★左記施策（号）との結び付き 現在、唯一の安定収入の得られる品目が春夏にんじんのみとなっており、露地野菜の生産意欲を維持するための大きな要因となっている。	計画値	出荷農家数60戸	従事延べ日数	5	5	5	5		
	節	1	商業、工業、農業の振興				民間活力の導入	現状は？：□実現している □将来可能性はある □将来困難だが可能性はある ■余地なし					
	項	1	商業、工業、農業の振興					相手は？：□市民 □市民活動団体 □企業・学校等					
	号	3	農業の振興					形態は？：					

2. 進捗状況

				平成21年7月31日記入					平成22年6月9日記入					平成23年4月20日記入
年度	21年度評価（20年度実施した事項についての評価）				22年度評価（21年度実施した事項についての評価）				23年度評価（22年度実施した事項についての評価）					
実施計画上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由
完了した事項	・平成20年度は、平均販売価格が保証基準額を上回っていたため、補助金の執行はありませんでした。				・平成21年度は平均販売価格が保証基準額を下回っていたため、生産者が負担する価格差補給金の20%、2,983,104円を補助した。				・平成22年度は平均販売価格が保証基準額を下回っていたため、生産者が負担する価格差補給金の20%、910,608円を補助した。					
継続している 事項	・				・				・					
未着手事項	・				・				・					
改善案	成果指標 実績値 0戸 達成率 0%				成果指標 実績値 49戸 達成率 82%				成果指標 実績値 39戸 達成率 65%					

3. 今後の方向性

		※課内協議を経て管理職が記入してください。				平成21年7月31日協議実施								平成22年6月9日協議実施								平成23年4月26日協議実施							
今後の方向性	*根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか？なぜその「コストの方向性」をえらんだか？別紙「評価の視点」を参照してください。	成果の方向性	拡充							成果の方向性	拡充									成果の方向性	拡充								
		現状維持							○	現状維持									○	現状維持								○	
		コストの方向性	休廃止	縮小	現状維持	拡充	コストの方向性				コストの方向性	休廃止	縮小	現状維持	拡充	コストの方向性				コストの方向性	休廃止	縮小	現状維持	拡充	コストの方向性				
		★上記を選択した根拠 価格が保証されることによって、生産活動に専念することができる。指定野菜生産支援の重要施策であることから、継続的に実施していく方針である。				★上記を選択した根拠 価格が保証されることによって、生産活動に専念することができる。指定野菜生産支援の重要施策であることから、継続的に実施していく方針である。				★上記を選択した根拠 価格が保証されることによって、生産活動に専念することができる。指定野菜生産支援の重要施策であることから、継続的に実施していく方針である。																			
方向性を実現するため実施すること（改革案）	農用地の利用集積を図り、春夏人参の生産者の維持拡大を図る。認定農業者の比率を向上させる。品質向上を図り、習志野人参としてのブランド化を図る。				農用地の利用集積を図り、春夏人参の生産者の維持拡大を図る。認定農業者の比率を向上させる。品質向上を図り、習志野人参としてのブランド化を図る。				平成23年度予算額10,000,000円は、補助金の見直しにより、①都市農業振興活動支援事業（・都市農地環境保全事業補助金・生産組織活動費補助金）②土壌改良補助事業 ③軟弱野菜等試験展示圃補助事業④野菜指定産地振興対策事業 ⑤ちばのオリジナルブランド産地づくり支援事業⑥共撰・共販支援事業の6事業7補助金を整理統合し、都市農業支援事業として予算計上した。																				
前年度改革案の実施状況	■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。																				